

# シンビオ社会研究会『エネルギー基本計画 2050』講演会

主催:シンビオ社会研究会

協賛:京都大学大学院エネルギー科学研究科

日時:令和 2(2020)年 1 月 29 日(水)14:00~17:00 (受付 13:45~)

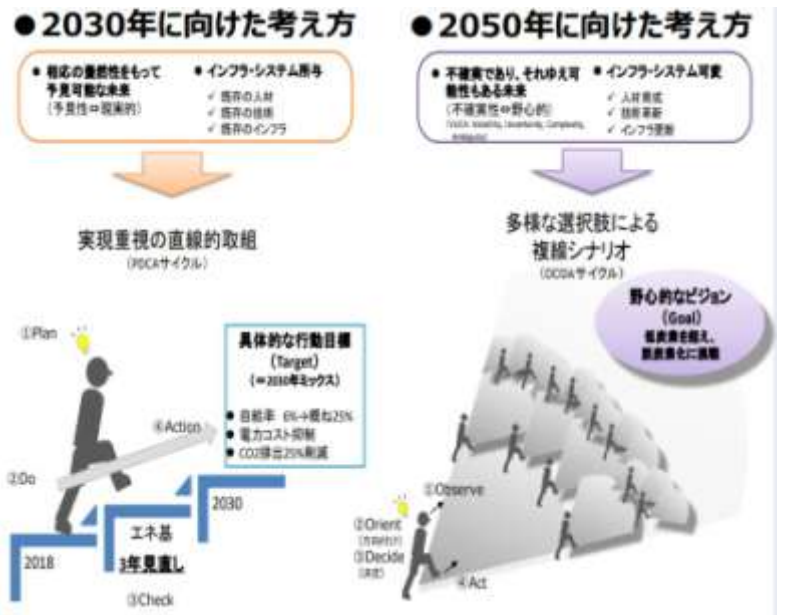
場所:京都大学芝蘭会館別館研修室 I

## 【趣旨】

私たちの毎日の生活を支えるエネルギー。私たちの将来の生活は、どのようにこれからのエネルギーを計画していくかにかかっています。

昨年末の国連地球温暖化防止会議 COP25 では、日本は地球温暖化の影響が最も厳しく現れた国とされる一方、環境 NGO から日本に昨年も『化石賞』が贈られました。昨年の日本はとくに厳しい天候異常で夏場は熱中症患者が続出したばかりでなく、相次ぐ勢力の大きい台風襲来で東日本に暴風と洪水による被害、長引く停電被害がありました。

今回の講演会『エネルギー基本計画 2050』では、2019(平成 31)年 1 月 28 日に行った前回の講演会『エネルギー基本計画 2030』のテーマ、2030 年の電力需給構造の姿からさらに発展して 2050 年への展望をともに考え、語り合う機会としたいと思います。



## ==== 講演会 プログラム ====

総司会 当会理事 新田 隆司

13:45~ 開始

13:55~14:00 開会の辞

当会会長 吉川 榮和(京大名誉教授)

14:00~15:00 基調講演『日本の将来の電力・エネルギー社会を考える』

司会 当会理事 新田 隆司

## 【概要】

2018年に策定された第5次エネルギー基本計画では、2050年に向けたエネルギー政策の基本方針は、2030年と同様に「3E+S」である一方、2030年より不確実性が高まるとの前提の下、複線シナリオでの対応が必要とされている。そこで、エネルギーの現状や2030年の目標を確認した上で、2030年以降の将来の日本のエネルギー、特に電力需給における不確実性の理解に向けて、今後の社会や技術の変化等考えておくべき重要な論点について講演する。

講師:田頭 直人(たがしら なおと)氏

(一般財団法人電力中央研究所 社会経済研究所副所長(兼)エネルギーシステム分析領域リーダー／副研究参事)

【略歴】東京大学工学部都市工学科卒業、東京大学工学系研究科都市工学専攻修了。電力中央研究所入所後、1998年工学博士号取得(東京大学)。現在、副所長(兼)エネルギーシステム分析領域リーダー副研究参事。所属:日本都市計画学会、土木学会、地理情報システム学会、グリーンエネルギー認証諮問委員会(委員)。専門分野:エネルギーシステム評価・環境政策分析

※田頭直人氏の資料



—————15:00~15:10 全体集合写真撮影後休憩—————

**【趣旨】**

30 年後の社会がどのようなになっているのか、その社会を維持していく上でどのようなエネルギー供給体制が必要なのか、そこに向けて今で何をすべきなのかについて、東北大学・高橋先生、京都大学・森下先生に話題提供いただくともに、基調講演をいただく田頭先生にも加わっていただきながら、フロア全体で議論する。

**話題提供1「未来予測の不確実性とバイアスについて」**

高橋 信(たかはし まこと)氏

(東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻教授)

【略歴】1992 年京都大学原子エネルギー研究所助手。1996 年東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻助手、2000 年同准教授 2002 年 4 月東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻准教授、2012 年 8 月同教授、現在に至る。

大規模システムの安全、ヒューマンインタフェース設計と評価、航空システムのヒューマンファクター、脳機能イメージングの工学応用に関する研究に従事

※高橋信氏の資料



**話題提供2「原子力の寿命について」**

森下 和功(もりした かずのり)氏

(京都大学エネルギー理工学研究所エネルギー機能変換研究部門准教授)

【略歴】1994 年東京大学大学院工学研究科システム量子工学専攻博士課程修了、博士(工学)、日本学術振興会特別研究員、1995 年米国リバモア国立研究所客員、1996 年東京大学工学部附属原子力工学研究施設助手、1997 年九州大学応用力学研究所助手、1999 年京都大学エネルギー理工学研究所助教授、2007 年同准教授、現在に至る。

原子炉・核融合炉材料の劣化評価と予測、信頼性工学、エネルギーシステムのリスクと保全に関する研究、マルチスケールモデリングとマルチフィジックスシミュレーションに関する研究に従事

※森下和功氏の資料



**★共同司会者の紹介**

藤野 秀則(ふじの ひでのり)氏

(福井県立大学経済学部准教授)

【略歴】2002 年 3 月京都大学工学部電気電子工学科卒業、2008 年 11 月京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了博士(エネルギー科学)、西日本旅客鉄道株式会社入社(安全研究所勤務)、福井県立大学経済学部経営学科講師を経て、現在に至る。専門は安全管理、人的要因、ヒューマン・マシン・システム等



伊藤 京子(いとう きょうこ)氏

(大阪大学経営企画オフィス特任准教授)

【略歴】1999 年京都大学工学部電気電子工学科卒業、2004 年京都大学大学院エネルギー科学研究科博士後期課程修了、博士(エネルギー科学)。大阪大学基礎工学研究科助手、同コミュニケーション・デザインセンター助手等を経て現職。専門は、ヒューマンインタフェース、コミュニケーション支援システム等

※藤野秀則氏伊藤京子氏の資料



16:50～16:55 資源エネルギー庁「エネルギーミックスシンポジウム」の参加案内

日時:2020 年 2 月 25 日(火) 会場:メルパルク京都「京極」

16:55～17:00 閉会の辞

当会副会長 吉田民也

講演者・話題提供者の発表資料はホームページ上にありますので見てください